

(参考様式 1－5)

事業活用活性化計画目標等評価報告書

作成日：令和 8 年 8 月 2 5 日

ふりがな	にしおこっぺむらちくかつせいかけいかく
活性化計画名	西興部村地区活性化計画
ふりがな	にしおこっぺむら
計画主体名	西興部村
計画期間	令和 2 年度～令和 7 年度
事業実施期間	令和 2 年度
活性化計画区域	西興部村地区

1 事業活用活性化計画目標の評価等

(1) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) $C = B / A$	備考
定住人口の維持・増加	3	39	1289%	
出荷割合の増減維持 90%	90%	101.7%	113%	

(コメント)

本事業は、地域材等を活用したギター生産施設であるオホーツク楽器工業（株）を整備することにより、生産体制の安定および生産量の増加を図り、地域材の利用拡大と雇用機会の確保を通じて、定住人口の維持増加につなげる事を目的として実施したものである。

当初の計画では、「ギター出荷本数（シナ材）の増加」を目標として設定していたが、計画期間後半において物価高騰等に伴う消費者の購買意欲の低下など、計画策定時では想定困難な市場環境の変化が生じたことから目標達成には至らなかった。

一方で、ギターの出荷本数は市場の需要や受注状況等の外部要因による影響が大きく、事業実施主体による生産体制の整備のみではその数量を確保することは困難な指標である。

このため、地域産業の振興という観点から、事業効果をより適切に把握するため、評価指標を「出荷割合の維持・増加」に見直し定住人口の維持・増加と合わせて達成した。

以上のことから、本事業は地域産業発展ならびに定住人口の維持・増加に一定の成果があったものと評価する。

(2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	地域資源活用起業支援施設の整備	
事業内容及び事業量	楽器工場増強改築整備工事一式 塗装・研磨棟 761.2m ² 、休憩室 54.0m ² ・塗装ブースの新設・空調設備の新設・ボイラー設備新設・休憩室新設・ベルトコンベヤー新設・エアシャワー新設	
事業実施主体	オホーツク楽器工業株式会社	
管理主体	西興部村	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
令和2年度	令和2年度	2020/11/1
事業の効果	地域資源である木材を活用したギター製造を行うオホーツク楽器工業株式会社の生産施設について、塗装・研磨棟の整備及び関連設備の導入を行ったことで、ギター製造の生産性が向上し、雇用の増加と定住人口の確保に繋がった。	

(3) 総合評価及び今後の方針

(コメント)

地域資源である木材を活用したギター製造施設の整備および関連設備の導入を行い、地域資源の利用促進、地域産業の振興および雇用機会の確保を図るものである。

これにより、ギター製造に必要な施設および設備の増強により、作業環境および生産能力が向上し安定した生産が可能となった。その結果、これに伴う雇用が創出され、就業機会の提供に寄与した。

一方で、当初設定した「ギター出荷本数（シナ材）1,000本増」の目標については、計画期間後半に物価高騰等に伴う消費者の購買意欲の低下などの影響により目標未達となった。

しかしながら、ギターの出荷本数は市場需要や受注状況等の影響を受けるものであり、事業実施主体の生産能力のみでその数量を確保することが困難な側面がある。

このため、本事業の趣旨をより適切に評価する観点から、「出荷割合の維持・増加」へ評価指標を見直したところ、変更後の目標については達成することができた。

このことから、本事業は、市場環境の変化等による制約がある中でも、ギター製造を継続し、雇用機会を確保するという点において、一定の成果を上げたものと評価する。

また、施設及び設備の整備によってギター製造を継続するための基盤が確保されたことは、地域産業の維持および雇用機会の確保という観点からも効果があったものとする。

今後も「ギターの出荷割合の維持・増加」を引き続き重要な指標として捉え、製品の製造及び出荷を継続する取組を通じて、地域産業の維持・発展及び雇用機会の確保を図り、持続可能な地域づくりにつなげていく。

(4) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 北見信用金庫西興部支店	(氏名) 松下 祐子
(コメント)		
本活性化計画では、地域産業の振興及び雇用機会の確保を通じて定住人口の維持・増加を図ることを目標とし、本事業において整備したギター製造施設は、地域における雇用の場の確保に寄与しており、変更後の評価指標であるギターの出荷割合の目標を達成したことは、産業を継続するという当初計画の趣旨に沿った成果が得られたものと評価する。		
人口動態については、雇用、住宅、進学、就職、出生・死亡など複数の要因が影響することから、本事業単独による定住人口への効果を明確に把握することは困難である。		
しかしながら、産業及び雇用の場を維持することは、定住人口の維持・増加を図る上で重要であることから、本事業は活性化計画の目標達成に一定程度寄与したものと評価する。		

2 活性化計画の目標の評価等

(1) 活性化計画の目標の達成状況

活性化計画の 目標及び達成度	目標	楽器工場における若者の就労の場を確保することで定住人口の維持・増加をめざす。		
	目標値 A	実績値 B	達成率 $C = B / A$	
	3 名抑制	39 名抑制	1239%	

(2) 今後の方針

(コメント)
変更後の評価指標である「ギターの出荷割合の維持・増加」を引き続き重要な指標として捉え、製品の製造および出荷を継続することで、地域産業の維持・発展および雇用機会の確保を図り、持続可能な地域づくりにつなげていく。

(3) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 北見信用金庫西興部支店	(氏名) 松下 祐子
(コメント)		
本事業は、西興部村の地域資源である木材を活用したギター製造施設の生産基盤を整備することにより、地域材の利用促進と地域産業の維持・発展を図る取組であり、地域の特性を活かした事業として評価できる。		
当初設定したギター出荷本数の増加については、市場環境の変化等により目標未達となったものの、消費者の購買動向や取引先からの受注等、事業者のみではコントロールすることが困難な要因にも左右されるため、その点を考慮して評価する必要はあったが、ギターの出荷割合については、目標を達成しており、製品の製造および出荷を継続し、顧客満足度向上を図っている点は評価できる。		

また、目標の見直しは事業効果をより適切に把握するためのものとして妥当であるとする。

今後は、現在達成している出荷割合を維持するとともに、地域材の安定供給、森林資源の循環利用および製品の付加価値向上を進めることが重要である。

また、地域材を活用したギター製造を地域の特色ある産業として継続することにより、地域の雇用機会を確保し、定住人口の維持・増加につながることを期待する。

【記入要領】

- (1) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要領別記3第11の3(1)及び(3)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (2) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は、事業メニューごとに作成すること。また、「事業の効果」には目標の達成に直接関係する効果だけでなく、事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果（取組への参加や地域内で行われた話合の回数などの地域の変化を表す数値等を含む。））を幅広く記入すること。

(参考様式1-5添付資料)事業活用活性化計画目標評価報告書の達成率等算出根拠
 北海道紋別郡西興部村
 西興部村地区活性化計画

区分:定住人口の維持・増加(転出人数の増加の抑制)

(単位:名)

		R1	R2	R3	計	R5	R6	R7	平均
目標値	転出予測値				0	92	92	92	92
	転出目標値				0	89	89	89	89
	減少抑制					評価期間平均			3名
実績値	転出人口	70	38	41	149	69	59	32	53
	減少抑制					評価期間平均			39名

[事後評価]

- ① = 目標値A = 目標 - 現状 = 3名 1289%
- ② = 実績値B = 実績 - 現状 = 39名

※ 上記数値は、18歳以下60歳以上、福祉施設入退所における人数を除く

区分:出荷割合の増減維持90%

(単位:%)

		R2	計	R5	R6	R7	平均
目標値	出荷割合	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
	増減	事業実施前(現状)	90.0%	評価期間平均			90.0%
実績値	出荷割合	87.4%	87.4%	94.5%	99.0%	111.6%	101.7%
	増減	事業実施前(現状)	87.4%	評価期間平均			101.7%

[事後評価]

- ① = 目標値A = 90.0% 113%
- ② = 実績値B = 101.7%